

## 令和8年度税制改正スローガン

- 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要  
将来世代にツケを回さない仕組み作りを！
- 「金利のある世界」への回帰を踏まえ、  
金融市場の動搖を招かない財政運営を！
- 企業への過度な社会保険料負担を抑制し、  
中小企業の活性化に資する税制措置を！
- 本格的な事業承継税制を確立し、  
地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ！

## 第41回法人会全国大会高知大会報告

副会長 笠井 一司

法人会の全国大会が10月16日に高知県立県民文化ホールで開催されました。他の役員さんのご都合が悪く、阿波麻植からは私一人での参加となりました。

当日は、駐車場のこともあり少し早めに家を出ましたが、ちょうどその日から井川池田ICから川之江東JCTの間が維持修繕工事のため終日通行止となっており、大豊ICまで国道32号線を走ることになりました。思った以上に時間が掛かりましたが、幸いにも予定していた所に駐車することが出来、大会開始の約30分前に到着、会場前で写真を撮っていただき、少し時間がありましたので会場隣接の物産展会場で特産品をお土産に買いました。

大会は全国から1,591名の参加で、四国の会員の配席はサブホールに指定されてモニターでの視聴でした。講演は高知県出身の元ローソン・ジャパン社長で（株）都築経営研究所代表の都築富士男氏の「変化の時代の企業経営、危機をチャンスに」と題する内容で、経営者やリーダーの役割は、時代の変化によって生まれてくるさまざまな課題を明確にし、その課題を解決する仕組みを作ると同時に事業機会を発見し参入すること。企業が成長・発展するために必要な機能は、マーケティング・コラボレーション・ベンチマークの3つの要素が必要だとし、強い好奇心をもって情報収集し、歴史を学び先見力を高める能力が求められるとの内容で、氏の長い経済界での経験に裏打ちされた貴重な講演でした。

その後大会式典が行われ、高知県法人会会长山元文明氏の開会の辞、全国法人会総連合斎藤保会長の挨拶、国税庁長官江島一彦氏ほかの来賓祝辞ののち、各種の表彰が行われ、「令和8年度税制改正に関する提言」の報告が行われました。最後に「地域経済や雇用の担い手である中小企業は、日本経済の礎であり、中小企業の支援のため、法人会は中小企業の活性化に資する税制措置等の税制改正に関する提言の実現を強く求める。(要約)」との大会宣言を採択し、次期大会が行われる茨城県連 笹島律夫会長の閉会の辞で閉会しました。

懇親会会場は、近くのザ・クラウンパレス新阪急高知で行われ、見知った方は少なかったのですが約1時間有意義な意見交換をすることが出来ました。